



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2018年5月13 (日) 9:30~12:00 (雨)

参加者 一般：0名、

指導員：3名

テーマ 「外来植物を見てみよう！」

朝から雨にたたられ、参加者は指導員3名の観察会です。

5月5日の下見の時には堤防法面に外来種のヒサウチソウやナヨクサフジが見られたので、今回は外来種を中心に観察する予定でしたが、その後堤防周辺の草刈りが実施されていました。公園なので定期的に草刈りが実施されますが、観察対象が消えてしまい、あてが外れたという感じです。

ただ、こうした草刈りの成果でしょうか、下見の時に見たヒサウチソウは昨年よりずっと少なく、黄色の花をつけるセイヨウヒキヨモギの姿は見られませんでした。来月、どのような草が伸びているか観察してみたいと思います。

それで、今回は雨の中、堤防の縁や刈り残されたものを見て、その後、草の残っている大野極楽寺公園に回りました。

よく似た植物では、マメ科の外来種のクスダマツメクサ、コメツブツメクサ、コメツブウマゴヤシがあり、花の大きさ、花径の長さ、葉の形状、茎の太さと色合いなど、違いをじっくり見ることができました。

公園なのでいろいろな樹木が植えられ、ちょうどアメリカザイフリボクとミヤマウグイスカグラが赤く熟した実をつけていました。五感を使っての観察ということで、今回は味覚の出番です。どちらもバラ科らしい甘酸っぱさを堪能できました。ここで観察会を始めてから4年目に入りましたが、これらの実を観察できたのは初めてでした。

(報告：齋竹)



(草刈された堤防—5/11 撮影)

<その他観察できたもの>

鳥：スズメ、カワラヒワ、キジ、ヒヨドリ、エナガ、シジュウカラ、ツバメ、ハシボソガラス、オオヨシキリ(声)、ウグイス(声) メジロ(声)

虫：モンシロチョウ、ヒメウラナミジャノメ

花：ヒメブタナ、ブタナ、チチュウ、グサ、ウラジロチチコグサ、キランソウ、オオキンケイギク、コウリリナ、ニガナ、ノアザミ、ツボミオオバコ、ナヨクサフジ、シロツメクサ、シロノジシャ、ヒサウチソウ、オオカワチシャ、オオフサモ、ユウゲショウ、コマツヨイグサ、ノイバラ、シャリンバイ、ヒナギキョウ



(クスダマツメクサと
コメツブツメクサ)



(コメツブツメクサと
コメツブウマゴヤシ)



(美味なアメリカザイフ
リボクの実)



(甘酸っぱいミヤマウグイ
スカグラの実)